

アートをつばさ1 -アートの島・香川県「直島」-

今年度の「並木ドリーム」は早くも第16号になりました。昨年4月6日からの通算では第216号です。さて、今号から新シリーズ「アートをつばさ」をスタートさせます。実は、3月末から温めていた企画だったのですが、いろいろ記事があり今号がスタートになりました。私が見た「アート作品」を紹介するシリーズです。

記念すべき「アートをつばさ」第1弾は、瀬戸内海に浮かぶアートの島「直島」（なおしま）（香川県直島町）の紹介です。香川県の高松港からフェリーで50分、岡山県の宇野港からフェリーで20分の所にある人口約3000人の小さな島ですが、知る人ぞ知るアートにあふれた島なのです。

2017年3月に行き、「ベネッセハウスミュージアム」（1992年開館）と「地中美術館」（2004年開館）を見学しました。両館とも世界的建築家である安藤忠雄氏の設計です。特に「地中美術館」では、真っ白な壁の大きな部屋にクロード・モネの「睡蓮」が5点展示してありました。その内『睡蓮の池』という作品は2×6mもありました。自然光の降り注ぐ中で、モネの「睡蓮」に囲まれて、至福の時間を過ごすことができました。

また、島中に現代美術のインスタレーション（空間芸術）がありました。フェリー乗り場のある宮浦港の近くには、草間彌生さんの「赤かぼちゃ」などの作品がありました。アートは、説明より見て感じていただくのが一番です。どうぞ写真をご覧ください。

